

令和8年第3回当別町議会定例会一般質問通告一覧

令和8年9月定例会

順序	議員名	要 旨
1 番	角田 広佑 (資料有り)	1 続発する災害対策と被災者支援の取り組み 【質問のねらい】 今年、日本では巨大地震に加え、豪雨水害による甚大な被害が全国各地で発生している。町が把握している災害リスクとその対策、避難者への支援策を質す。 【質問項目】 (1) 昨年改定された当別町防災計画（地震災害対策編）において示された地震発生リスクについて、町はどのように評価しているかを質す。 (2) 町においても短時間豪雨が発生するようになった。今後短時間豪雨が発生した場合の市街地、河川流域それぞれの浸水リスクとその対策について質す。 (3) 本流の水量が増水し、支川の流入が妨げられ逆流することで合流点付近が浸水被害を受ける「バックウォーター」のリスクについて、町はどのように評価しているか質す。 (4) 厳冬期の停電時における町の支援体制について質す。 (5) 暴風雪に起因するホワイトアウトによる交通障害の対策と、発生後に帰宅困難者が発生した際の支援体制について質す。 (6) 被災した人々の人道支援の最低限守るべき質と説明責任を体系化した国際基準である「スフィア基準」についての認識と、その対応策について質す。

2 番	芳形 幸夫	1 高齢者に紙おむつの支援を 【質問のねらい】 転入者の声で近隣自治体が高齢者への紙おむつの支援があることを知る。物価高騰で負担が増すなか当別町における支援の必要性について町の見解を問う。 【質問項目】 (1) 札幌市など、一定の要件を設けて紙おむつの支援を行っている自治体があるが当別町との施策の違いをどのように認識しているのか、町の見解を伺う。 (2) 紙おむつを必要とする高齢者にとって、経済的負担が大変厳しいと聞く。日常紙おむつを必要とする高齢者に対して、町独自の支援を求めるが町の見解を伺う。 2 アメリカ産の生鮮ばれいしょの輸入解禁について 【質問のねらい】 アメリカ産生鮮ばれいしょが輸入解禁されることによって、その影響と対応について町の見解を問う。 【質問項目】 (1) アメリカ産の生鮮ばれいしょの輸入解禁問題が大きく報道されている。当別町として、国に対して輸入解禁を行わないよう働きかけるべきと考えるが、町としてどのような対応が可能と考えるか、町の見解を伺う。
-----	-------	---

3 番	五十嵐 信子	1 「軟骨伝導イヤホン」の窓口設置について 【質問のねらい】 高齢化が進む中、加齢などにより聴力に不安を抱え役場窓口での会話や手続きに不便を感じている方の声がある。安心して窓口を利用できる環境づくりは重要である。 【質問項目】 (1) 誰もが安心して相談や手続きができる環境を整えるため、窓口への聴覚支援機器の導入を検討すべきと考えるが伺う。 2 災害に強く安心して暮らせるまちづくりについて 【質問のねらい】 通電火災を防ぐ感震ブレーカーの普及、老朽化した空き家による倒壊等への早期対応、取り組みについて。さらには災害発生後に大量に発生する災害廃棄物の適切かつ迅速な処理など災害発生時前から発生後までを見据えた防災・減災対策の強化について資す。またペットの同行避難について資す。 【質問項目】 (1) 地震発生時の通電火災を防ぐため、感震ブレーカーの更なる普及促進と、高齢者や障がい者などの設置が困難な世帯への支援及び設置費用に対する助成について考えを伺う。 (2) 町内には老朽化や管理不足により周辺住民が安全面等に不安を感じる空き家も散見される。災害時の二次被害を防止するため危険性のある空家等を事前に把握する必要があると考えるが、町は調査しているか伺う。 (3) 空家対策を防災、福祉、住宅政策と一体として考え、各部・民間事業者等と連携し、売却、賃貸、修繕、解体等について相談体制を整え先進事例も参考に取る必要があると考えるが、町の考えを伺う。 (4) 町内における災害廃棄物の発生をどのように想定し、冬の災害も考慮し「仮置場」は具体的に確保され、周知はどのようにされているのか伺う。 (5) ペットがいる理由で避難をためらわないよう、ペット同行避難が可能な避難所ごとの設置や、その際の基本的なルールや考え方を明確にし、わかりやすく周知する考えはないか伺う。
-----	--------	---

4 番	山崎 公司	1 今後の上下水道事業経営戦略について 【質問のねらい】 今年3月に当別町上下水道事業経営戦略の概要が発表された。この計画期間は、令和8年度から令和17年度まで10年間となっている。この内容は、財政・人口減少・投資計画の実現可能性・繰入依存など、複数の構造的な問題点が存在する。個々の内容確認をする。 【質問項目】 (1) 計画当初の令和8年度スタート時の給水人口・水需要の最新の状況について。 (2) 令和8年度から令和17年度までの人口・需要シナリオについて。 (3) 経営戦略の需要予測は、北海道医療大学移転を反映しているか。また、どの程度減少を見込んでいるのか。 (4) 投資計画（53億円）の投資規模は、どのような根拠で算定されたか。また、投資項目を仕分けすることにより、投資規模を縮減出来ないのか。 (5) 料金改定の根拠について（なぜ29%という大幅な改定が必要なのか）。また、料金改定が地域経済に与える影響をどう認識しているのか。 (6) 北海道医療大学跡地の水需要をどう確保するか。町の都市計画・企業誘致と上下水道は本来セットで動くべきと考えますが、北海道医療大学との連携を含め現状の可能性はどのようになっているか伺う。 (7) 中間見直しと料金改定を令和12年としているが、人口減少はもっと早期に進む。現状の中で、総合戦略スタート時に料金改定を実施する事を検討してはどうか。 2 快適な授業環境を 【質問のねらい】 札幌管区气象台によると今夏の平均湿度が今世紀に入って初めて80%を超える可能性がある」と発表されている。給水や空調機器の利用などで熱中症対策をするよう求めている。各小中学校の状況を確認する。 【質問項目】 (1) 学校の7、8月の気温・平均湿度の状況はどうであったか。 (2) 小・中学校の熱中症対策は、どのように行われたか。 (3) 快適な授業環境を目指し、小・中学校の普通教室・特別教室のエアコンは、十分機能しているか。 (4) 授業や部活動以外に災害時に避難所として、体育館のエアコン設置を検討してはどうか。
-----	-------	--

【計4人、2時間00分（1人30分計算）】